

座談会『県商創立140周年に寄せて

母校とふるさとに想いを馳せて東京神商会大いに語る』を開催

- ◇開催日時 平成28年12月11日(日) 12時30分～
- ◇会場 神戸大学東京六甲クラブ(旧凌霜クラブ) 帝劇ビル地下2階
- ◇出席者 ・関東在住 東京神商会有志9名
・神商同窓会 大野理事長、森副理事長、柏木専務理事

この度母校創立140周年記念誌編纂に当たり、東京神商会の有志の方々にご参集頂き標記の座談会を開催しました。

「故郷は遠きにありて思ふもの」心の拠り所としての神戸、そして県商への思いの丈を述べて頂きました。

共通のキーワードは《県商》、集った皆さんは旧県商時代、星陵商業科、そして新県商時代と約55歳の年齢差、年齢の隔たりを感じることなく学生時代にタイムスリップ、県商に入学した動機や県商時代の思い出、恩師のこと等々。岩根先輩(70回生)から旧県商の偉大な先輩の話や戦時中の県商生のこと等をお聞きし、若い回生には県商の歴史を学ぶ良い機会となりました。

なお、本日の座談会の内容を記念誌にまとめ、来年10月7日(土)開催「母校創立140周年記念式典」にて配布いたします。

本日ご参集頂きました東京神商会の各位には心より感謝申し上げます。

記 大野美代子(理事長 85回生)



